圧巻大の里 単独トップ

大相撲秋場所 8日目（20日、東京・両国国技館）

霧島不覚3敗 綱とり厳しく

横綱大の里は隆の勝を圧倒し、1敗を守って単独トップに立ちました。大関琴桜は新小結の伯乃富士に屈して2敗に後退。霧島は美ノ海に不覚を取って3敗となり、場所後の綱とりは極めて厳しくなりました。大関安青錦は5勝目。両関脇は大関昇進が懸かる熱海富士が琴栄峰を、藤ノ川は高安を退けて共に6勝2敗としました。

大の里（左）は寄り切りで隆の勝を下す

美ノ海　霧島を力強く押し倒す。直近3連勝の合口の良さにも、「一生懸命にやってたまたまの白星。いい相撲を取れるようにという意識だけ」と柔らかい表情で。

伯乃富士　琴桜を馬力で圧倒。新小結の場所は2勝6敗と苦しんでいるが、「勝ち負けより、来場所につながる相撲を取りたい。きょうの相撲を忘れないようにしたい」。

▽…中入り後…△

寿富士（よりたおし）御嶽海
時疾風（よりたおし）翔猿
朝紅龍（よりきり）千代翔
湘南海（よりきり）朝白龍
阿炎（おしだし）若元春
正代（はたきこみ）朝翠龍
金峰山（よりきり）藤青雲
王鵬（おしだし）錦富士
朝乃山（よりきり）獅司
宇良（とったり）一山本
平戸海（よりきり）狼雅
尊富士（おしたおし）欧勝馬

藤凌駕（おくりだし）豪ノ山
義富士（うわてなげ）琴勝峰
熱海富（つきおとし）琴栄峰
藤ノ川（おしだし）高安
美ノ海（おしたおし）霧島
安青錦（よりきり）大栄翔
伯富士（おしだし）琴桜
大の里（よりきり）隆の勝

▽…十両…△

錦木（よりきり）藤壮
玉正（おくりだし）明生
輝（おしだし）時不
炎鵬（よりきり）丹治
東白（はたきこみ）栃大
竜電（よりきり）嘉陽
日翔（おしだし）羽出

生田（おしだし）翠富
友風（おしたおし）北若
阿剋（うわてなげ）白熊
玉鷲（おしだし）大青
一意（つきおとし）佐田
嵐富（おしだし）出龍
風賢（はたきこみ）旭海

大相撲秋場所星取表

○勝ち　●負け　□不戦勝　■不戦敗　や休場　☆勝ち越し　★負け越し

【東】	1	2	3	4	5	6	7	8	9
横綱 大の里	○栄翔	○琴勝	○琴栄	●高安	○義富	○豪山	○美海	○隆勝	藤凌
大関 霧島	○琴勝	○伯富	●高安	○琴栄	○隆勝	●義富	○豪山	●美海	栄翔
大関 安青錦	○琴栄	○高安	○琴勝	●伯富	●豪山	●藤川	○熱海	○栄翔	義富
関脇 熱海富	○豪山	○美海	●隆勝	○藤凌	○栄翔	○琴勝	●安青	○琴栄	高安
小結 伯富士	●美海	●霧島	●藤凌	○安青	●藤川	●栄翔	○琴勝	●琴桜	琴栄
前頭 琴勝峰	●霧島	●大里	●安青	○藤川	○高安	●熱海	○伯富	●義富	豪山
同2 高安	●琴桜	●安青	○霧島	○大里	●琴勝	●琴栄	○隆勝	●藤川	熱海
同3 豪ノ山	●熱海	○栄翔	●藤川	●琴桜	○安青	●大里	●霧島	●藤凌	琴勝
同4 隆の勝	○藤凌	○欧馬	○熱海	●美海	●霧島	●琴桜	●高安	●大里	朝山
同5 狼雅	●欧馬	○藤凌	○朝山	○山本	○藤青	●錦富	○尊富	●平戸	美海
同6 朝乃山	○山本	○錦富	●狼雅	○欧馬	○尊富	○平戸	●藤青	○獅司	隆勝
同7 藤青雲	○錦富	○山本	○尊富	●平戸	●狼雅	○欧馬	○朝山	●金峰	王鵬
同8 尊富士	○平戸	○獅司	●藤青	○王鵬	●朝山	○山本	●狼雅	○欧馬	朝紅
同9 宇良	○獅司	●平戸	○王鵬	○錦富	○若元	○朝龍	●正代	○山本	欧馬
同10 王鵬	●金峰	○正代	●宇良	●尊富	●獅司	●若元	○寿富	○錦富	藤青
同11 若元春	○正代	●金峰	○朝龍	○獅司	●宇良	○王鵬	●朝紅	●阿炎	寿富
★同12 若隆景	や	や	や	や	や	や	や	や	や
同13 朝紅龍	○翔猿	○阿炎	○正代	●寿富	●時疾	●金峰	○若元	○千翔	尊富
同14 翔猿	●朝紅	●朝龍	●阿炎	○湘南	○朝翠	○阿剋	●千翔	●時疾	正代
同15 朝翠龍	○千翔	○湘南	●寿富	○一意	●翔猿	○阿炎	●時疾	●正代	平戸
★同16 若ノ勝	や	や	や	や	や	や	や	や	や
同17 湘南海	●出龍	●朝翠	●千翔	●翔猿	●寿富	●時疾	○風賢	○朝龍	阿炎

【西】	1	2	3	4	5	6	7	8	9
★横綱 豊昇龍	や	や	や	や	や	や	や	や	や
大関 琴桜	○高安	○義富	○栄翔	○豪山	●美海	○隆勝	○藤凌	●伯富	藤川
関脇 藤ノ川	○義富	●琴栄	○豪山	●琴勝	○伯富	○安青	○栄翔	○高安	琴桜
小結 大栄翔	●大里	●豪山	●琴桜	○義富	●熱海	○伯富	●藤川	●安青	霧島
前頭 琴栄峰	●安青	○藤川	●大里	●霧島	●藤凌	○高安	●義富	●熱海	伯富
同2 義富士	●藤川	●琴桜	●美海	●栄翔	●大里	○霧島	○琴栄	○琴勝	安青
同3 美ノ海	○伯富	●熱海	○義富	○隆勝	○琴桜	○藤凌	●大里	○霧島	狼雅
同4 藤凌駕	●隆勝	●狼雅	○伯富	●熱海	○琴栄	●美海	●琴桜	○豪山	大里
同5 欧勝馬	○狼雅	●隆勝	○山本	●朝山	○錦富	●藤青	○平戸	●尊富	宇良
同6 一山本	●朝山	●藤青	●欧馬	●狼雅	●平戸	●尊富	○錦富	●宇良	獅司
同7 錦富士	●藤青	●朝山	○平戸	●宇良	●欧馬	○狼雅	●山本	●王鵬	朝龍
同8 平戸海	●尊富	○宇良	●錦富	○藤青	○山本	●朝山	●欧馬	○狼雅	朝翠
同9 獅司	●宇良	●尊富	○金峰	●若元	○王鵬	○正代	●朝龍	●朝山	山本
同10 金峰山	○王鵬	○若元	●獅司	○正代	●朝龍	○朝紅	○阿炎	○藤青	千翔
同11 正代	●若元	●王鵬	●朝紅	●金峰	●阿炎	●獅司	○宇良	○朝翠	翔猿
同12 朝白龍	○阿炎	○翔猿	●若元	●千翔	○金峰	●宇良	○獅司	●湘南	錦富
同13 阿炎	●朝龍	●朝紅	○翔猿	○時疾	○正代	●朝翠	●金峰	○若元	湘南
同14 千代翔	●朝翠	○時疾	○湘南	○朝龍	○玉鷲	○寿富	○翔猿	●朝紅	金峰
同15 時疾風	○寿富	●千翔	○大青	●阿炎	○朝紅	○湘南	○朝翠	○翔猿	佐田
同16 寿富士	●時疾	○旭海	○朝翠	○朝紅	○湘南	●千翔	●王鵬	○御嶽	若元

十両

【東】	勝	負
出羽龍	4	4
大青山	6	2
玉鷲	4	4
風賢央	5	3
佐田海	2	6
北の若	7	1
翠富士	4	4
竜電	5	3
炎鵬	4	4
生田目	4	4
輝	8	0
玉正鳳	4	4
明生	3	5
栃大海	2	6

【西】	勝	負
旭海雄	2	6
一意	2	6
阿武剋	4	4
御嶽海	3	5
嵐富士	4	4
白熊	3	5
友風	3	5
羽出山	2	6
東白龍	3	5
丹治	5	3
日翔志	6	2
嘉陽	7	1
時不動	4	4
錦木	3	5

突き押しも四つも 器用な金峰山

待ったなし

米大リーグで活躍する大谷翔平選手の今シーズンは、例年に比べて投打で不振であるが、角界で突き押しと四つ相撲の"二刀流"が持ち味の金峰山が今場所は久々に元気だ。

6日目はうるさい朝紅龍を右四つに組み止めると、相手の左上手投げを難なく残して送り出し。続く7日目は阿炎との突っ張り合いにも全く下がらず、一方的に押し出す快勝だった。

そしてこの日はまわしを取ると力を発揮する藤青雲に対し、もろ手突きから突っ張りで攻め立て、相手が右上手を取りにきた瞬間、素早く二本差して寄り切り。パワーはもちろん、突っ張りと四つを瞬時に使い分ける器用さも発揮して6勝目を挙げた。

昨年初場所は千秋楽本割で王鵬に勝てば初優勝だったが、初めて経験する大舞台で重圧がかかったのか、何もできずに完敗。優勝決定ともえ戦の末、優勝杯は当時大関の豊昇龍の手にわたった。

その後は目立った活躍はないが、あのときの悔しさは今も腹の奥底に横たわっているはず。持病の首痛も今場所はそれほどひどくなさそうだ。

土俵上のたけだけしい姿とは真逆の普段は温厚な29歳に、今場所はあのときの再来をがぜん、期待したくなってきた。

（スポーツライター　石神公一）

9日目の取組

▽…中入り後…△

佐田 ― 時疾
湘南 0―3 阿炎
翔猿 7―11 正代
若元 ― 寿富
千翔 6―3 金峰
朝翠 ― 平戸
尊富 2―0 朝紅
朝龍 2―2 錦富
藤青 ― 王鵬
獅司 ― 山本

宇良 5―2 欧馬
隆勝 1―6 朝山
狼雅 3―5 美海
琴勝 4―4 豪山
伯富 ― 琴栄
熱海 4―4 高安
藤川 1―2 琴桜
霧島 17―11 栄翔
安青 1―4 義富
大里 ― 藤凌

▽…十両…△

栃大海 ― 大花竜
輝 ― 嘉陽
生田目 ― 日翔志
錦木 ― 東白龍
玉正鳳 ― 羽出山
竜電 ― 時不動
明生 ― 友風

翠富士 ― 丹治
炎鵬 ― 白熊
玉鷲 ― 北の若
御嶽海 ― 一意
大青山 ― 阿武剋
嵐富士 ― 旭海雄
出羽龍 ― 風賢央

佐久間 今季3勝目

女子ゴルフ

重圧を力に 昨季王者の本領

優勝を決め、喜ぶ佐久間朱莉

女子ゴルフの住友生命Vitalityレディース東海クラシック最終日は20日、愛知・新南愛知CC美浜（パー72）で行われ、1打差の2位で出た佐久間朱莉（さくま・しゅり）が、通算13アンダーで並んだ昨年覇者の神谷そらとのプレーオフを制し、8月のニトリ・レディース以来となるツアー通算7勝目を挙げました。今季3勝目。

佐久間はプレーオフ1ホール目でパーをセーブし、神谷がボギーでした。

2打差の3位に吉沢柚月が入り、古江彩佳と青木瀬令奈が通算10アンダーの4位。桑木志帆は13位でした。

昨季の年間王者は、厳しい場面で強さを発揮した。佐久間がプレーオフにもつれ込んだ神谷との競り合いを制し、「ひやひや、どきどきしながらも、一打一打集中してプレーできた。緊張はあったが、その緊張感が楽しかった」。重圧をプラスに変える勝者のメンタルが備わっていた。

5番でイーグルを奪って首位に立ち、前半に六つ伸ばした。11番で4打差をつけながらも、すんなりとはいかない。14番でボギーをたたき、15番は第2打を池に入れるピンチ。4打目を約6㍍につけてパーセーブし、「攻めた結果なので割り切り、パーパットをしっかり決める」。ミスを引きずらなかった。

その後もパーでしのぎ、17番で追い付かれたものの、プレーオフは1ホール目でパーセーブ。第2打が池につかまった神谷を振り切った。

今季は開幕戦で優勝した後、遠かった2勝目を8月に手にした。自信を取り戻すきっかけとなり、「ニトリの優勝が本当に大きい」。3戦後に初めてプレーオフで勝ち、2週後の日本女子オープンに向けても弾みをつけた。「メジャーを勝ちたいし、勝てば年間女王も見えてくると思う」。言葉に力がこもった。

44歳内藤がツアー初V

男子ゴルフ

男子ゴルフのANAオープン最終日は20日、札幌GC輪厚（パー72）で行われ、2日目からトップに立った44歳の内藤寛太郎（ないとう・ひろたろう）が66で回り、通算25アンダーに伸ばしてツアー初優勝を果たしました。

福島県郡山市出身の内藤は、同県勢で初のツアー優勝者に。44歳123日での初優勝は歴代5番目の年長記録となりました。

5打差の2位は佐藤大平。さらに1打差の3位に香妻陣一朗（こうづま・じんいちろう）と大岩龍一が入りました。

巨人 逆転で3連勝

セ・リーグ 20日

◇巨人−ヤクルト23回戦（巨人13勝10敗、東京ドーム）

ヤクルト	000101000	2
巨人	00000120×	3

▽勝 中川45試合3勝1敗 ▽S マルティネス54試合5勝4敗40S ▽敗 阪口34試合1敗 ▽本塁打 オスナ8号①（小笠原）

巨人が3連勝。2点を追う六回にダルベックの適時打で1点差とし、七回2死満塁で泉口が左中間に2点二塁打を放って逆転した。小笠原が六回途中2失点。

マルティネス40S

マルティネスが40セーブ目。ヤクルトは4番手の阪口の乱調が痛かった。

★マルティネス、歴代3位の252セーブ　巨人のライデル・マルティネス投手は20日のヤクルト23回戦（東京ドーム）で今季40セーブ目をマークして通算252セーブとし、歴代3位の佐々木主浩に並びました。初セーブは中日時代の2019年6月11日のオリックス1回戦（京セラ）。歴代1位は407セーブを記録した岩瀬仁紀。

大野粘投10勝目 細川2発4打点

◇中日−広島23回戦（広島15勝8敗、バンテリンドームナゴヤ）

広島	011001200	5
中日	01311002×	8

▽勝 大野21試合10勝6敗 ▽S 松山43試合1勝3敗30S ▽敗 森16試合2勝6敗 ▽本塁打 末包1号①（大野）石川昂11号①（森）細川23号③（森）24号①（鈴木）花田4号①（森）佐々木6号①（大野）モンテロ13号②（大野）

中日は1点を追う三回に細川の3ランで逆転。四回には花田、五回は細川がソロ。八回に福永の2点二塁打で突き放した。大野は七回途中まで5失点ながら10勝目を挙げた。広島は森が5失点。終盤の追い上げも及ばなかった。

阪神8点大勝

◇阪神−DeNA21回戦（阪神11勝10敗、甲子園）

DeNA	000000010	1
阪神	00301022×	8

▽勝 才木23試合9勝5敗 ▽敗 竹田8試合3勝4敗 ▽本塁打 牧29号①（石井）森下35号①（中川虎）

オリ15安打9点

パ・リーグ 20日

◇日本ハム−オリックス23回戦（日本ハム14勝9敗、エスコンフィールド）

オリックス	320003010	9
日本ハム	011002002	6

▽勝 高島22試合7勝5敗 ▽S マチャド49試合3勝1敗33S ▽敗 有原16試合7勝8敗 ▽本塁打 宗14号③（有原）清宮幸20号①、21号①（高島）野村17号①（高島）西川13号①（島本）

オリックスが15安打9得点で打ち勝った。一回に宗の3ランで先制し、二回は西川の2点適時打で加点。五回は太田の中前打などで3点を奪った。高島が6回4失点で7勝目。日本ハムは有原が5回持たず、打線の追い上げも及ばなかった。

パ・リーグ成績（20日現在）

	試	勝	敗	分	率	差	残
①ソフトバンク	134	84	47	3	.641		9
②西武	134	74	56	4	.569	9.5	9
③日本ハム	135	73	59	3	.553	2.0	8
④オリックス	135	63	70	2	.474	10.5	8
⑤ロッテ	129	58	68	3	.460	1.5	14
⑥楽天	131	52	78	1	.400	8.0	12

楽天一発攻勢

◇楽天−ソフトバンク22回戦（11勝11敗、楽天モバイル）

ソフトバンク	030000000	3
楽天	00040100×	5

▽勝 滝中19試合6勝8敗 ▽S 藤平44試合2敗27S ▽敗 大津21試合11勝5敗 ▽本塁打 マッカスカー22号①（大津）辰己14号②（大津）小郷1号①（大津）

19日のプロ野球（一部地域既報）

◇ロッテ−西武21回戦（西武11勝10敗、ゾゾマリン）

西武	101000200	4
ロッテ	000000200	2

▽勝 隅田23試合10勝7敗 ▽S 甲斐野53試合2勝2敗21S ▽敗 高野脩30試合3勝4敗 ▽本塁打 カナリオ14号①、15号①（高野脩）渡部10号①（高野脩）ソト17号②（隅田）

◇阪神−広島22回戦（阪神11勝10敗1分、甲子園）

広島	100101020	5
阪神	100000000	1

▽勝 栗林17試合7勝6敗 ▽敗 村上25試合10勝9敗 ▽本塁打 佐藤啓5号①（村上）

◇DeNA−ヤクルト最終戦（ヤクルト13勝12敗、横浜）

ヤクルト	000120000	3
DeNA	01000040×	5

▽勝 岩田24試合2勝1S ▽S レイノルズ57試合4勝1敗16S ▽敗 清水45試合2勝3敗5S ▽本塁打 牧28号④（清水）

◇中止のプロ野球（20日）
▽ロッテ−西武（ゾゾ）

きょうのスポーツ

◆総合＝アジア大会第3日（10時、愛知・クロコくんホールほか）◆大相撲＝秋場所9日目（9時20分、東京・両国国技館）◆サッカー＝JFL（15時、沖縄県総合運動公園陸上競技場）◆ラグビー＝関東大学リーグ戦（15時、神奈川・小田原市城山陸上競技場）◆アイスホッケー＝アジアリーグ（14時、栃木・日光霧降アイスアリーナ）◆アメリカンフットボール＝Xリーグ・プレミア（16時、千葉・第一カッターフィールド）◆プロボクシング＝日本、東洋太平洋（OPBF）、世界ボクシング機構（WBO）アジア・パシフィック・ウエルター級王座統一戦　佐々木尽（八王子中屋）×セムジュ・デビッド（中日）ほか（13時、東京都立多摩産業交流センター）◆プロ野球＝中日×広島（14時、バンテリン）阪神×DeNA（14時、甲子園）日本ハム×オリックス（14時、エスコン）楽天×ソフトバンク（13時、楽天）ロッテ×西武（18時、ゾゾ）

【予告先発】▽中日・高橋宏−広島・斉藤優▽阪神・ルーカス−DeNA・平良▽日本ハム・加藤貴−オリックス・山口▽楽天・前田健−ソフトバンク・上茶谷▽ロッテ・ジャクソン−西武・武内

神戸5連勝 首位浮上

J1 20日

第8節の残り2試合が行われ、神戸はG大阪を1−0で退け、5連勝で勝ち点19の首位に浮上しました。柏は町田を4−2で下し、勝ち点1差で2位。前節首位の町田は今季初黒星で、勝ち点17のまま4位に後退しました。

日本代表の国際試合があるためリーグ戦は中断され、第9節は10月9〜11日に行われます。

【G大阪−神戸】前半、競り合うG大阪の初瀬（左）と神戸の武藤

エリキ決勝点

▽パナスタ（35884人）
神戸（勝点19）1（0−0、1−0）0 G大阪（勝点6）
▽得点者【神】エリキ①（90分）

神戸が少ない好機をものにした。攻守の切り替えが早く、ゴール前でも粘り強く守った。試合終了間際にエリキが決めた。G大阪は序盤から主導権を握った。縦に速い攻撃を続け、後半もチャンスはあったが、仕留められなかった。

柏が後半4G

▽Gスタ（12703人）
柏（勝点18）4（0−1、4−1）2 町田（勝点17）
▽得点者【柏】瀬川⑥⑦（53分、88分）遠藤②（58分）小泉③（65分）【町】相馬③（38分）小川③（92分＋）

柏が快勝。前半に先制を許したが、守備の裏を突くなど積極的に攻め続けた。後半に瀬川のゴールで追い付くと、遠藤、小泉と立て続けに得点。終了間際にも瀬川が加点した。町田は守備の乱れを立て直せず、退場者も出て劣勢となった。

……19日の記録

◇第8節第1日

▽埼玉（33652人）
浦和（勝点12）3（3−0、0−1）1 東京V（勝点4）
▽得点者【浦】マテウスサビオ③④（24分、32分）南野④（44分）【V】新井①（62分）

▽MUFG国立（51557人）
F東京（勝点17）1（0−0、1−0）0 名古屋（勝点6）
▽得点者【F】俵積田①（56分）

◇J1成績表

	試	点	勝	分	敗	得	失	差
①神戸	8	19	6	1	1	12	5	+7
②柏	8	18	6	0	2	17	12	+5
③広島	8	17	5	2	1	20	6	+14
④町田	8	17	5	2	1	21	10	+11
⑤F東京	8	17	5	2	1	14	8	+6
⑥横浜M	8	14	4	2	2	13	9	+4
⑦川崎	8	13	3	4	1	16	12	+4
⑧鹿島	8	13	4	1	3	17	16	+1
⑨岡山	8	13	4	1	3	11	10	+1
⑩浦和	8	12	4	0	4	16	18	−2
⑪C大阪	8	11	3	2	3	7	12	−5
⑫清水	8	10	3	1	4	6	8	−2
⑬水戸	8	9	2	3	3	11	11	0
⑭京都	8	8	2	2	4	11	15	−4
⑮長崎	8	8	2	2	4	10	15	−5
⑯G大阪	8	6	1	3	4	8	14	−6
⑰名古屋	8	6	2	0	6	7	14	−7
⑱福岡	8	4	1	1	6	9	12	−3
⑲東京V	8	4	0	4	4	4	12	−8
⑳千葉	8	4	1	1	6	7	18	−11

J2 20日

▽U等々力（22734人）
川崎（勝点13）3（1−1、2−2）3 鹿島（勝点13）
▽得点者【川】マルシーニョ⑥（48分＋）伊藤②（54分）ペドロホマーノ①（97分＋）【鹿】レオセアラ⑨⑩（44分、67分）松村①（83分）

▽日産ス（25794人）
横浜M（勝点14）2（1−0、1−0）0 水戸（勝点9）
▽得点者【M】キニョーネス①（8分）山根①（83分）

▽アイスタ（16014人）
清水（勝点10）2（0−1、2−0）1 千葉（勝点4）
▽得点者【清】松崎①（47分）呉世勲②（71分）【千】マテウスインディオ①（30分）

▽JFEス（14822人）
京都（勝点8）2（1−1、1−0）1 岡山（勝点13）
▽得点者【京】ジョアンペドロ①（10分）アレックスソウザ①（92分＋）【岡】羅相浩①（46分＋）

▽ベススタ（12906人）
広島（勝点17）1（0−0、1−0）0 福岡（勝点4）
▽得点者【広】東①（68分）

▽ピースタ（20330人）
長崎（勝点8）1（1−0、0−1）1 C大阪（勝点11）
▽得点者【長】マテウスジェズス③（34分）【C】ルーカスフェルナンデス①＝PK（51分）

▽レモンS
湘南（勝点12）1（0−1、1−0）1 秋田（勝点9）

▽JITス
徳島（勝点10）1（0−0、1−0）0 甲府（勝点7）

▽ニッパツ
横浜C（勝点13）2（1−0、1−1）1 今治（勝点4）

▽藤枝サ
藤枝（勝点11）1（1−0、0−1）1 大宮（勝点13）

▽駅スタ
いわき（勝点9）3（0−0、3−1）1 鳥栖（勝点8）

……19日の記録

◇第7節第3日

▽CFS
仙台（勝点14）3（2−0、1−1）1 栃木C（勝点10）

◇第7節第2日

▽プレド
札幌（勝点5）1（0−0、1−1）1 大分（勝点7）

▽NDスタ
富山（勝点13）2（0−0、2−0）0 山形（勝点9）

▽デンカS
新潟（勝点15）2（1−0、1−1）1 磐田（勝点10）

日本がNZに勝利 ファイナル予選へ

デ杯テニス

男子テニスの国別対抗戦、デビス杯（デ杯）ワールドグループ1部、日本−ニュージーランド（NZ）は20日、NZのオークランドで最終日が行われ、日本が通算3勝1敗として勝ち、来年のファイナル予選に進出しました。

第1試合のダブルスで綿貫陽介（SBCメディカルグループ）柚木武（イカイグループ）組が敗れましたが、続くシングルスで島袋将（有沢製作所）が勝ちました。（時事）

鈴木彩好セーブ チームは初勝利

欧州サッカー

【ロンドン＝時事】サッカーの欧州各国リーグは19日、各地で行われ、イングランド・プレミアでGK鈴木彩艶のアストンビラは相手本拠地でトットナムを3−2で下し、今季初勝利を挙げました。鈴木彩はフル出場し、好セーブで貢献しました。イプスウィッチの前田大然は0−1で敗れたエバートン戦で後半途中からプレーしました。

ドイツ1部で、鈴木唯人と後藤啓介のフライブルクはアウェーで堂安律のアイントラハト・フランクフルトと2−2で引き分けました。先発した鈴木唯は後半に同点ゴールを決め、後藤は終了間際から出場し、堂安は先発して後半途中まで出ました。